

平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年8月3日

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント
 コード番号 4751 URL <http://www.cyberagent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中山 豪
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5459-0202

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	70,142	—	2,857	—	2,800	—	1,134	—
20年9月期第3四半期	63,825	13.5	3,616	1.1	3,533	4.9	827	△34.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	1,749.13	—
20年9月期第3四半期	1,273.59	1,272.72

(注)平成21年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第3四半期	63,854	31,255	39.8	39,191.48
20年9月期	62,911	30,146	38.5	37,317.27

(参考)自己資本 21年9月期第3四半期 25,409百万円 20年9月期 24,194百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	—	—	700.00	700.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期 (予想)	—	—	—	700.00	700.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年9月期第3四半期 | 648,343株 | 20年9月期 | 648,343株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年9月期第3四半期 | —株 | 20年9月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年9月期第3四半期 | 648,343株 | 20年9月期第3四半期 | 649,411株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

国内のインターネットビジネス市場は、ブロードバンド環境の普及や携帯電話の定額料金制導入等によって市場成長が続いております。(株)電通の発表によりますと、インターネット広告市場は、平成19年6,003億円、平成20年6,983億円(前年比16.3%増)となり、ラジオ広告および雑誌広告を超える規模まで拡大しております。インターネットビジネスは、インターネットメディアの多様なサービス展開、EC市場の拡大、新サービスの可能性と、今後もさらに広がっていくものと思われま

す。このような環境のもと、当社グループは、「Ameba」を中心としたグループメディアの強化、インターネット広告代理事業による営業力強化、両事業の強みを活かした投資育成事業の展開に引き続き努めてまいりました。特に「Ameba」につきましては、グループメディアの中核に育てるため、PV(閲覧数)を最重要指標として先行投資を継続してまいりました。

この結果、当社グループの第3四半期連結累計期間における売上高は、メディア(広告・課金・コンテンツ)事業におけるモバイル広告の堅調な推移、注力事業である「Ameba」の順調な拡大等により、70,142百万円(前年同期間63,825百万円、9.9%増加)となりました。営業利益に関しましては、前第3四半期連結累計期間の投資育成事業における営業利益貢献1,202百万円がなくなったものの、メディア(広告・課金・コンテンツ)事業の業績の堅調な推移、「Ameba」における売上高拡大に伴う損益改善等により、2,857百万円(前年同期間3,616百万円、21.0%減少)となり、経常利益は2,800百万円(前年同期間3,533百万円、20.7%減少)となりました。四半期純利益に関しましては、減損損失の計上等により、1,134百万円(前年同期間827百万円、37.1%増加)となりました。

①メディア(ブログ関連)事業

メディア(ブログ関連)事業には、当社運営の「Ameba」及び「アマーバピグ」、「プーペガール」、「MicroAd」、(株)サイバー・バズにおけるクチコミマーケティング事業等が属しております。

「Ameba」の平成21年6月PV数は90.7億PVと前年同月の46.1億PVと比べて44.6億PV増と大幅に増加しました。当事業におきましては、「Ameba」のPV増加を最重要指標として先行投資を継続しながらも、「アマーバピグ」等の課金サービスを開始する等、本格的に収益化の取り組みを行ってまいりました。

このような結果、メディア(ブログ関連)事業の売上高は3,795百万円(前年同期間2,474百万円、53.4%増加)、営業損益は634百万円の損失計上(前年同期間1,384百万円の損失計上)となりました。

②メディア(広告・課金・コンテンツ)事業

メディア(広告・課金・コンテンツ)事業には、(株)シーエー・モバイルグループを中心としたモバイル広告、(株)ECナビにおける価格比較サイト、(株)ジークレストにおけるオンラインゲーム課金、(株)サイバーエージェントFXによる外国為替証拠金取引等が属しております。当事業におきましては、積極的な広告宣伝を行い会員数が順調に増加した結果、売上高は24,465百万円(前年同期間19,012百万円、28.7%増加)、営業損益は2,855百万円の利益計上(前年同期間2,704百万円の利益計上、5.6%増加)となりました。

③メディア(コマース)事業

メディア(コマース)事業には、(株)ネットプライス運営のギャザリング(共同購入)等のオンラインショッピング事業が属しております。当事業におきましては、引き続き経費削減に努めながら、景気低迷に対応した低価格戦略による売上高増加に注力するとともに、グローバルショッピング事業「sekaimon」等の海外関連の新規事業にも取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は13,843百万円(前年同期間13,169百万円、5.1%増加)、営業損益は605百万円の利益計上(前年同期間609百万円の利益計上、0.6%減少)となりました。

④インターネット広告代理事業

インターネット広告代理事業には、当社インターネット広告事業本部を中心とした広告代理事業やSEM(検索エンジンマーケティング)事業、アドネットワーク事業等が属しております。当事業におきましては、景気の悪化が広告市況に影響を及ぼす中、顧客ニーズに沿った提案を行い、広告出

稿の獲得に努めてまいりました。

このような結果、売上高は30,937百万円（前年同期間30,949百万円、0.0%減少）、営業損益は253百万円の利益計上（前年同期間483百万円の利益計上、47.4%減少）となりました。

⑤投資育成事業

投資育成事業には、当社におけるコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・インベストメントにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。当事業におきましては、保有株式の売却等により、売上高は161百万円（前年同期間2,102百万円、92.3%減少）、営業損益は226百万円の損失計上（前年同期間1,202百万円の利益計上）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は63,854百万円（前連結会計年度比942百万円の増加）となりました。これは、主に当期純利益の計上に伴う現金及び預金の増加等によるものであります。

負債は32,598百万円（前連結会計年度比166百万円の減少）となりました。これは、主に納税により税金債務が減少したこと等によるものであります。

純資産は31,255百万円（前連結会計年度比1,108百万円の増加）となりました。これは、堅調な営業活動の成果として、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

下記のとおり、平成20年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	97,000	4,700	4,500	1,200

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,990	13,389
受取手形及び売掛金	10,677	10,799
有価証券	100	1,360
たな卸資産	600	409
営業投資有価証券	2,776	2,935
外国為替取引顧客預託金	13,554	13,710
外国為替取引顧客差金	3,644	5,574
その他	3,388	3,913
貸倒引当金	△64	△59
流動資産合計	51,668	52,032
固定資産		
有形固定資産	1,893	1,782
無形固定資産		
のれん	941	1,595
その他	1,984	1,488
無形固定資産合計	2,925	3,083
投資その他の資産		
その他	7,939	6,581
貸倒引当金	△572	△568
投資その他の資産合計	7,366	6,013
固定資産合計	12,185	10,879
資産合計	63,854	62,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,719	6,798
短期借入金	1,010	272
外国為替取引顧客預り証拠金	17,741	18,193
未払法人税等	377	1,037
ポイント引当金	517	518
その他	4,675	5,501
流動負債合計	31,040	32,322
固定負債		
社債	800	200
長期借入金	448	216
その他	309	25
固定負債合計	1,558	442
負債合計	32,598	32,764

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,771	6,771
資本剰余金	5,106	5,106
利益剰余金	13,404	12,535
株主資本合計	25,282	24,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	205	△180
為替換算調整勘定	△78	△39
評価・換算差額等合計	127	△219
新株予約権	11	5
少数株主持分	5,834	5,946
純資産合計	31,255	30,146
負債純資産合計	63,854	62,911

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)
売上高	70,142
売上原価	45,429
売上総利益	24,713
販売費及び一般管理費	21,855
営業利益	2,857
営業外収益	
受取利息	36
投資有価証券売却益	22
持分法による投資利益	29
その他	69
営業外収益合計	157
営業外費用	
支払利息	18
消費税等調整額	99
その他	96
営業外費用合計	214
経常利益	2,800
特別利益	
固定資産売却益	1
賞与引当金戻入額	4
受取補償金	35
投資有価証券償還益	54
その他	27
特別利益合計	121
特別損失	
固定資産除却損	179
投資有価証券評価損	227
減損損失	602
その他	97
特別損失合計	1,105
税金等調整前四半期純利益	1,816
法人税、住民税及び事業税	1,053
法人税等調整額	△573
法人税等合計	480
少数株主利益	202
四半期純利益	1,134

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

	メディア (ブログ 関連) (百万円)	メディア (広告・ 課金・コ ンテン ツ) (百万円)	メディア (コマー ス) (百万円)	インター ネット広 告代理 (百万円)	投資育成 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	2,743	22,753	13,834	30,648	161	70,142	0	70,142
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,051	1,712	8	288	—	3,060	(3,060)	—
計	3,795	24,465	13,843	30,937	161	73,202	(3,060)	70,142
営業利益	△634	2,855	605	253	△226	2,854	3	2,857

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の内容

(1) メディア(ブログ関連)事業

「Ameba」及び「アマーバピグ」の運営、「プーペガール」の運営、「MicroAd」の運営、クチコミ事業等

(2) メディア(広告・課金・コンテンツ)

PC及びモバイルメディアの運営、オンラインゲーム事業、外国為替証拠金取引、コンテンツ提供等

(3) メディア(コマース)事業

オンラインショッピング事業、出版事業等

(4) インターネット広告代理事業

広告代理事業、SEM(検索エンジンマーケティング)事業、アドネットワーク事業、広告制作等

(5) 投資育成事業

コーポレートベンチャーキャピタルによる投資、ファンド運営等

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年9月期第 3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	63,825
II 売上原価	41,185
売上総利益	22,640
III 販売費及び一般管理費	19,024
営業利益	3,616
IV 営業外収益	98
1 受取利息	37
2 有価証券利息	30
3 投資有価証券評価益	0
4 その他	30
V 営業外費用	181
1 支払利息	9
2 投資有価証券評価損	23
3 デリバティブ評価損	3
4 消費税等調整額	57
5 為替差損	19
6 貸倒引当金繰入額	7
7 持分法による投資損失	50
8 その他	10
経常利益	3,533
VI 特別利益	52
1 投資有価証券売却益	1
2 関係会社株式売却益	2
3 貸倒引当金戻入益	6
4 持分変動益	42
VII 特別損失	1,124
1 投資有価証券評価損	885
2 固定資産除却損	148
3 事業撤退損	9
4 減損損失	26
5 臨時償却費	21
6 移転費用	32
税金等調整前四半期純利益	2,460
税金費用	1,477
少数株主利益	156
四半期純利益	827

(2)セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年9月期第3四半期）

	メディア (ブログ関連) (百万円)	メディア (広告・課金・ コンテンツ) (百万円)	メディア (コマース) (百万円)	インターネット 広告代理 (百万円)	投資育成 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び 営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,285	16,592	13,143	30,701	2,102	63,825	—	63,825
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	1,189	2,420	26	248	—	3,884	(3,884)	—
計	2,474	19,012	13,169	30,949	2,102	67,709	(3,884)	63,825
営業費用	3,858	16,308	12,560	30,466	899	64,093	(3,884)	60,209
営業利益又は 営業損失(△)	△1,384	2,704	609	483	1,202	3,616	—	3,616

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主な内容

(1) メディア（ブログ関連）事業

「Ameba（アメールブログ）」の運営、ブログ中心の広告配信「MicroAd」の運営、クチコミ事業等

(2) メディア（広告・課金・コンテンツ）事業

PC及びモバイルメディアの運営、オンラインゲーム事業、外国為替証拠金取引、コンテンツ提供等

(3) メディア（コマース）事業

オンラインショッピング事業、出版事業等

(4) インターネット広告代理事業

広告代理事業、SEM（検索エンジンマーケティング）事業、アドネットワーク事業、広告制作等

(5) 投資育成事業

コーポレートベンチャーキャピタルによる投資、ファンド運営等

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年9月期第3四半期）

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年9月期第3四半期）

連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。